

AI ガバナンスポリシー

策定の目的と背景

EMSG経営パートナーズ株式会社(以下、「当社」という)は、経営革新等の支援、企業統治・リスク管理・内部統制(GRC)強化、事業開発、品質保証、M&A、国際税務、知的財産その他の業務改善に係る専門的サービスの提供において、AIを含むデジタル技術を適切かつ有効に活用し、業務品質の向上、知見の高度化、知識創造、意思決定支援および顧客価値の創出を図ります。

他方で、AIの出力には、誤情報、偏り、説明困難性、機密情報・個人情報の不適切な取扱い、著作権等の権利侵害、セキュリティ上の脅威などのリスクが含まれます。

当社は、これらのリスクを適切に管理しながら、AI活用による提供価値と便益を最大化するため、2026年9月1日付で本ポリシーを策定しました。

AI技術の利用に関する基本的な考え方

人間重視の考え方と人の適切な関与により、信頼性を高める

当社は、人間重視の考え方と人の適切な関与により、AI活用を通じたサービスの信頼性を高めることを基本姿勢とします。そのために、AIを人間の知識や認知、判断力、倫理観および創造性を補完・拡張するための手段として位置づけます。AIは、専門家としての責任ある判断を代替するものではなく、調査、分析、文書作成、仮説検討、リスク確認等を支援し、専門知の深化と顧客価値の創出を支える良きパートナーとして活用します。

また、当社は、AIを単なる自動化手段としてではなく、人間がAIと対話・協働し、相互に知見を深めることを通じて、新たな知識、発想および顧客価値を創出するための重要な基盤としても位置づけています。

当社は、法令遵守、倫理性、顧客への誠実性、説明責任および情報管理を重視し、人の適切な関与、確認・承認その他必要な介入を前提として、AIを安全かつ有効に利用します。

1. 人間重視・人権尊重・公平性

当社は、AI の利用にあたり、人間の尊厳、基本的人権、多様性および公平性を尊重します。AI の出力が、学習データや設計上の制約により偏り、不正確さ、差別的表現または不当な不利益を含む可能性を認識し、採用、人事評価、与信、重要な契約判断その他個人または組織に重大な影響を及ぼす事項について、AI の出力のみを根拠として意思決定を行いません。必要に応じて人間が内容を確認し、合理性、公平性および倫理性を検証します。

2. 法令遵守・知的財産権その他権利の保護

当社は、AI の利用、外部 AI サービスの導入、専用 AI の導入・調整、AI を活用した業務プロセスの構築、および将来的に必要な範囲での AI に関する研究、限定的な開発・改良に関連する法令、契約、業界指針、公的ガイドラインおよび社内規程を遵守します。

現時点では、多額の費用を投じた大規模な AI 開発を前提とするものではありませんが、AI を用いた対話型サービスに関する事業化・知的財産化の検討を含め、当社の業務実態に応じて段階的かつリスクベースで管理します。

AI に入力する情報および AI から得られる出力について、著作権、営業秘密、個人情報、肖像権、商標権、特許権その他第三者の権利を侵害しないよう確認します。

3. 機密情報・個人情報・プライバシーの保護

当社は、顧客情報、取引情報、未公開の経営情報、財務・税務情報、M&A 関連情報、知的財産関連情報、個人情報その他の機密性の高い情報を AI に入力または学習させる場合、法令、契約、守秘義務および社内ルールに従い、利用目的の範囲内かつ必要最小限に限定します。

その際、匿名化・マスキング、アクセス制限、保存管理、ログ管理、学習利用設定、外部送信・国外移転の有無を確認します。

公開型または管理状況が不明確な AI サービスには、会社の承認の有無にかかわらず、営業秘密、個人情報、未公開情報その他の機密情報を入力しません。

会社が安全性を確認し承認した管理環境に限り、必要最小限の範囲で利用できるものとします。

4. 情報・データガバナンスと AI 活用基盤

当社は、DX 推進および AI 活用の実効性を高めるためには、AI ガバナンスとともに、情報・データガバナンスの整備・運用が不可欠であると認識しています。AI の入力、学習、分析および出力の基礎となる情報やデータについて、品質、正確性、

最新性、出所、利用権限、機密性、保存期間、アクセス権限および利用目的を適切に管理します。

当社は、情報管理、セキュリティ、個人情報保護、契約上の利用制限および知的財産権の確認を、AI 活用と一体的に整備・運用します。

情報・データガバナンスの整備にあたっては、情報の取得、作成、保存、利用、共有、廃棄の各段階において、管理責任、利用権限、更新責任および確認手続を明確にし、AI 活用に用いる情報やデータの信頼性を継続的に確保します。

5. 安全性・セキュリティ・適切な利用環境

当社は、AI サービスを利用する際、情報セキュリティ上のリスク、プロンプトインジェクション、データ漏えい、アカウント不正利用、出力改ざん、外部システム連携による予期せぬ処理等に留意し、業務上必要かつ安全性が確認された環境で利用します。外部 AI サービスの導入または重要業務への適用にあたっては、利用目的、入力情報、出力の利用範囲、契約条件、データ保護、ログ管理、責任分界および停止・代替手段を確認します。

6. 正確性・品質・専門家による確認

当社は、AI の出力が常に正確、最新、完全または法的・実務的に妥当であるとは限らないことを前提とします。特に、財務・税務、法務、M&A、知的財産、契約、規制対応その他専門的判断を要する領域では、AI の出力を参考情報として扱い、最終的な判断および対外的な説明は、担当責任者または外部専門家による確認を経て行います。当社は、AI を利用して作成した成果物についても、人間による確認を経たうえで、当社の業務上の責任範囲において説明責任を果たします。

7. 透明性・説明責任

当社は、AI を利用した業務プロセスまたは成果物について、必要に応じて、利用目的、利用した AI サービスの概要、入力情報の範囲、主な確認方法および人間による判断の関与を説明できるよう努めます。顧客、取引先、専門家、行政機関その他のステークホルダーに影響を及ぼす資料や判断に AI を利用する場合、AI の利用により説明責任が不明確にならないよう、担当者、承認者および責任範囲を明確にします。

8. 教育・リテラシー・適正利用

当社は、役職員および業務委託先が AI の便益とリスクを理解し、適切に利用できるよう、AI リテラシー、情報セキュリティ、個人情報保護、著作権、機密保持、プロンプト作成、出力確認等に関する教育・周知を行います。シャドーAI の発生を抑止す

るため、業務上利用可能な AI サービス、禁止される入力情報、承認が必要な用途および相談窓口を明確にします。

9. ガバナンス体制・継続的改善

9-1. 管理体制の整備

当社は、AI 利用に関する責任者、確認者および承認者を明確にし、利用目的、リスクおよび影響範囲に応じた管理体制を整備します。

9-2. 継続的見直し

当社は、AI の利用状況、関連法令・ガイドライン、技術動向および社会的要請の変化を踏まえ、本ポリシーおよび関連ルールを継続的に見直します。

9-3. 高リスク利用の判断基準

高リスク利用に該当するか否かは、入力情報の機密性、出力の利用先、個人または法人の権利利益への影響、専門的判断の必要性、外部提出の有無、および利用する AI サービスの管理状況を総合的に考慮して判断します。

9-4. 高リスク利用時の統制措置

重要な AI 利用、外部サービスの導入、営業秘密・個人情報・未公開情報を AI に入力または AI で処理する利用、公開前の開示対象情報または社外提出予定資料への利用その他高リスクと考えられる利用については、事前確認、記録、承認、モニタリングおよび必要な是正措置を行います。

9-5. AI 利用記録の活用

AI 利用に関する記録は、単なる利用履歴の保存にとどまらず、成果物の品質確認、説明責任の履行、事故発生時の原因確認、再発防止および継続的改善のために活用します。

9-6. 問題発生時の対応

問題またはその疑いが生じた場合は、速やかに利用を停止し、影響範囲の確認、関係者への報告、必要に応じた顧客・取引先等への連絡、再発防止策の検討を行います。

制定日 2026年9月1日

EMSG経営パートナーズ株式会社
代表取締役 吉村 修二